

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.168

2021.10

くしろ丹頂

デントコーン収穫作業終了



R3.9.27 鶴居地区

CONTENTS

- 「マネロン・テロ資金供与対策」、「相談・苦情等対応」研修会を開催 1
- 令和3年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール入賞者の発表 1
- デントコーン収穫作業終了 2
- 年金相談会 2
- 女性部音別支部もの作り講習会 3
- 職員農場実習を実施 3
- 農場実習体験記 4～10
- 農協法公布記念日にあたっての組合員・役職員へのメッセージ 11
- 普及センターだより 12
- しまふく寮のレシピ紹介 13
- 農作業にも役立つセルフコンディショニング講座 14
- 国消国産/今月のミルクレシピ 15
- ちょっと一息あたまたの体操「まちがいさがし」 16
- 理事会報告/生乳生産実績/辞令発令/お詫びと訂正 17



お車の冬支度はお済みですか？

「マネーロンダリング・テロ資金供与対策」 「相談・苦情等対策」研修会開催

鶴居本店



幌呂支店



白糠支店



音別支店



「マネーロンダリング・テロ資金供与対策」、「相談・苦情等対策」研修会が、JA北海道信連釧路支所JAバンク推進課岡部 隆嗣課長と和田 裕貴氏を講師に迎え、9月29日に白糠・音別支店、30日に鶴居本店・幌呂支店で、常勤役員と担当職員を対象にWEB形式で開催されました。

マネーロンダリングとは、資金洗浄ともいわれ、違法な手段で得た資金の出所をわからなくするために、架空または他人名義の口座などを利用し、転々と送金を繰り返す等、不正資金とわからなくする行為のことをいいます。

当JAでもこのような事例が発生しないよう、金融犯罪や顧客対応についての知識をさらに深め、皆様に安心していただけるサービスを目指し、役職員一同努めて参ります。

令和3年度JA共済全道小・中学生 交通安全ポスターコンクール入賞者の発表



このコンクールはJA共済が毎年行っており、昨年はコロナ禍のため中止されましたが、今回、2年ぶりに開催されました。

本年度のコンクールには全道118校から、2,749点の作品が寄せられました。当JA管内の小・中学校の作品は合計50点あり、その中から3作品が見事佳作に選ばれました。

佳作入賞者

幌呂中学校	3年生
北村 早穂さん	
下幌呂小学校	5年生
岡井 麦穂さん	
鶴居小学校	3年生
中野 平さん	

どの作品も子供たちの願いが込められた作品で、心に響く秀作ぞろいでありました。

これからも多くの子供たちが、交通安全に関心を持ち、応募してくれることを期待し、このコンクールが交通安全の啓発に一層貢献できることを願っています。





デントコーン収穫作業無事終了



今年も良質な粗飼料の確保に向け、各地区で収穫作業が行われました。
今年の収量は6月から7月にかけての干ばつもあり、前年に比べ少なくなりましたが、収穫作業は、台風等の悪天候による影響もなく、事故なく無事に終了いたしました。

年金相談会を開催



社会労務士の池田一己氏を迎えて、これから年金を受給される方、すでに年金を受給されている方からの相談を受け、2日間で10名の方が来店されました。

これからも、地域の皆様が気軽に相談できる場として、年金相談会を開催して参ります。

毎年開催
しておりま
す年金相談
会を、9月
10日に鶴居
本店、11日
に白糠支店で開催しまし
た。





女性部音別支部もの作り講習会



9月24日、女性部音別支部がもの作り講習会を開催いたしました。今回の講習会は、5名の参加者で彩り鮮やかな花を使ったガラスフラワーを作成しました。

講師を務めた成田支部長の指導のもと、参加者は一つ一つ丁寧に花を飾り付けて、思い思いのガラスフラワーを作り上げました。

完成した作品は、前月号で紹介したリースや蓮の花と一緒に10月23日から31日に開催された音別町総合文化祭へ出品されました。



職員新人農場実習を実施



10月4日から7日までの期間、本年の新卒採用職員4名と昨年参加できなかった1名の計5名が、組合員の皆様の農場で実習をさせていただきました。

この実習に先立ち、9月30日に勉強会を開催し、実習中の注意点や、施設の説明、1日の仕事のサイクル等を学びました。

8日には常勤役員、参事、各部長への報



告会が開催され、実習の中でそれぞれが学び、感じたことを報告し、様々な助言をいただきました。

今回、農場実習を受け入れていただいた農場の皆様には改めて感謝申し上げます。農場実習の詳細については農場実習体験記として次頁より掲載しておりますので、是非ご覧ください。



令和3年度

農場実習体験記

農場実習を実施した職員の貴重な体験記をご報告致します。

おのむら だい
購買部・生産資材課 小野村 大

私は、10月4日から五十嵐農場さんに実習に行かせて頂きました。

最初に、農場の施設の案内をしてもらいました。育成や乾乳など細かく成長に合わせて牛舎を分け移動させている事や、子牛にあげるミルクにも決まった温度、1頭1頭の健康状態にあった薬など細かい所まで気を使って作業をしなければならないと感じました。

説明を受けた後、夕方の搾乳の準備を行いました。最初は機械にふれる事に不安がありましたが、使い方などを丁寧に教えて頂き、終える事ができました。

次に搾乳作業を実践しながら教えて頂いたのですが、上手くいかず、五十嵐さんや従業員の方にその都度助けて頂きました。

私は、あせりなどもあり、少しもたついてしまいました。

最初の手搾りの作業が上手くできなかったです。1頭1頭乳頭の向きや形、大きさが異なるため、その時の判断でミルカーのつけ方を工夫したり、乳房炎で4本の内の1本だけ搾れない牛がいるなど考えながら作業をするのですが、頭数が多いため、素早く行うのは大変でした。

搾乳の途中で哺育の方に移動し、ミルクや牧草やり、寝藁を敷く作業などを行い、1日目は終了しました。初めての作業で疲れました。

2日目は朝の搾乳から始まりました。前日の作業よりも少しですが慣れ、スムーズにできるようになったのですが、搾っている1頭だけを見るのではなく、搾り終わった牛の乳頭に薬をつける作業があるので、周りを見る事も必要だと感じました。午前中の作業は各牛舎の牧草やり、

鉾塩を必要な所に置いて回りました。

授精師の方が来ていたので、少し説明を聞き、作業を見学させて頂きました。初めて見たのですが、数年後を見据えて、どの種をつけるのかを考えているとの事で、とても難しい事だと感じました。

夕方の搾乳は、今までに教えて頂いた事をふまえて作業に取り組み、無事に終える事が



できました。

3日目は、この2日間を通して学んだ事を意識し作業に取り組みました。

4日目は、体調不良により参加する事ができませんでした。

3日間でしたが、色々な経験ができました。この経験を業務に生かしていきたいと思います。
色々な体験をさせて頂いた五十嵐農場の皆さんありがとうございました。

購買部・燃料課 ふじ た そら
藤 田 空



私は今回、五十嵐政敏さんの農場で実習させて頂きました。

初日は夕作業だけだったのですが、初めて間近で見る牛に少し緊張しながら、牛床の掃除や搾乳などを手伝わせて頂きました。牛床の掃除では、寝ている牛を移動させながら掃除を行い、その事だけで手一杯でした。搾乳作業では、牛を驚かせない作業の仕方として、足に触れてから乳頭に触れる事を教えて頂き、注意しながら搾乳を手伝わせて頂きました。搾

乳の前後で乳頭に薬を塗っている所を見て、病気にならない工夫をしているのだと知りました。

2日目は、朝の作業は搾乳のみだったのですが、前日より前搾りが多少出来るようになり、少し動けるようになった事を実感出来ました。昼の作業では、寝藁敷きや給餌、鉋塩補充などの作業をしました。寝藁敷きでは寝藁を均一に敷き、給餌作業では牛の体格に合わせて餌の量や、鉋塩の置き場を変える工夫をしていて、とても勉強になりました。夕作業では、前日に引続き牛床の掃除や搾乳をしました。2日目という事もあり、流れは把握していましたが、やはり実際にやってみると作業がとても難しく、沢山のアドバイスを頂きながら手伝わせて頂きました。搾乳では、より全体を見てミルカーを付けたり乳頭にディッピングするなど、テキパキと動けるようになった事を実感しました。搾乳の後は、子牛の餌やりを行いました。特に気を付けなければならないのは、生まれて日数が経っていない牛や離乳間近の牛に対し、与える餌の量などを1頭ずつ変えなければいけない事です。全ての牛に対して気を使わなければいけない作業を目の前で見させて頂き、牛を飼う事は、本当に大変なのだと実感しました。

3日目では、朝の作業に搾乳を、昼の作業に餌やりを、夕作業に牛床の掃除・搾乳を行いました。この日の作業で一番進歩したと思えるのが、牛を移動させながらの牛床の掃除で、初めてで手間取っていた事も、少しずつですが出来るようになりました。農場で働かされている従業員さんの動きを真似しながらだったのですが、初めて自分で行動できるようになり、達成感がありました。他にも餌をやる際のフォークなどの使い方を教えて頂きました。

最終日では、朝の搾乳を終えた後、昼の作業で牛を別の牛舎に移動させる作業を手伝わせて頂きました。実際にもくしを引っ張ると、牛の力がとても強く驚きました。その中でも、牛1頭ずつに癖があり、牛にあった引き方をしなければならない場合がある事を知り、動物を相手





に仕事をするという事は、本当に大変なのだと実感しました。夕作業の際には、1時間ほど前に生まれたばかりの子牛を見せて頂き、初乳をあげました。初乳には、子牛を守るための抗体が含まれている事などを教えて頂き、実際に初乳を与えていると、生まれたばかりとはいえ、力は強く、容器を引っ張られるほどでした。そして最後の夕作業で搾乳と子牛達に餌をあげて、農場実習は終了しました。

私が今回の農場実習で感じた事は、大きくまとめて3つあります。

1つ目は、本当に農家の仕事は大変だという事です。年間365日通して休みなく、天候・季節・動物を相手にして働き、沢山の仕事を抱えながら物事を進めなければならない大変さを近くにおいて実感する事が出来ました。

2つ目は、仕事に対してのメリハリです。仕事をする時はとても集中して作業を行い、休憩時には、和気あいあいと楽しくお話をされていました。その姿を見て、仕事に対してのスイッチの切り替えの大切さについて教えて頂きました。

3つ目は、自ら仕事に対しての楽しさ、やりがいを見出すという事です。農家の仕事は大変な仕事が多いなかでも楽しそうに仕事をしており、その作業されている後姿はとても印象に残っています。

今回の農場実習に参加させて頂き、農家さんがどれだけ苦勞をして生乳を生産し、消費者の方々のもとに届けて下さっているのかを知る事が出来き、JA職員として、組合員の方々の力になれるように努力したいと思いました。

最後になりますが、今回私を受け入れて頂いた五十嵐農場の皆さん、本当にありがとうございました。教えて頂いた事や今回感じた事を忘れずに、今後活かしていきたいと思います。

今回は本当にありがとうございました。



畜産生産部・家畜改良課

によ　　むら　　れん
饒　　村　　紫



今回の農場実習で私は、菊地大輔農場にお世話になりました。学生以来の現場実習で、とても楽しみに実習に入りました。普段から菊地農場には授精業務でお世話になっておりますが、いつもとは違った立場で農場に行くため、とても緊張しました。ですが大輔さんやお父さん、お母さん、従業員の皆様が積極的にコミュニケーションをとって下さったので、程よい緊張感で作業を始める事ができました。

実習では言われた事はもちろん、その先何をしたらいいのかを常に考えながら作業していました。特に搾乳では途中で乳検もあり、普段より人数が多く、より限られた空間での作業のため、他の人の作業の邪魔にならないよう、周りに注意して行動しました。搾乳自体はとても久しぶりだったので、ひとつひとつ慎重にミスのないよう心がけました。搾る事が出来ない乳房がある牛もいるので、牛についたマークを見逃さぬように、周りの人にも確認を取りながら作業しました。8頭ダブルの平行パーラーで、今まで繋ぎ牛舎とヘリングボーンパーラーでの搾乳が多く、平行パーラーでの搾乳経験が少なかったため、真後ろからのミルカー装着に慣れるのが大変でした。16頭の牛が同時に搾られるため、よく状況を見て、音をよく聞いて、頭を使いながらの作業で、初めはバタバタしてしまいましたが、最終日にやっと余裕をもって搾乳ができました。

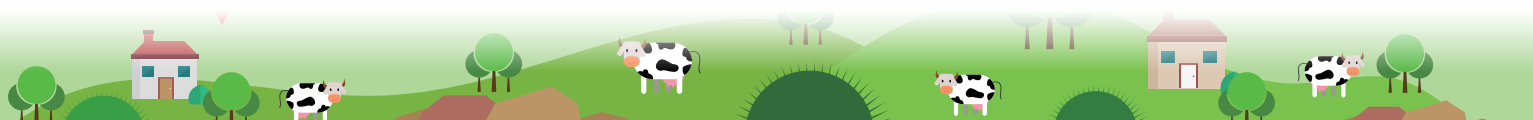
哺乳も体験させて頂き、今まで私が経験した方法とは違うやり方で、農家さんそれぞれのこだわりがあり、とても勉強になりました。哺乳はお母さんと一緒に作業をしていました。子牛はとてもデリケートなので、よく観察して体調を確認し、子牛に合わせて数種類の添加剤を配合し哺乳していて、大切に管理されているのが伝わってきました。

フィリピン人研修生のお二人と作業する事も多かったのですが、お二人とも日本語と少しの英語を交えながら積極的に会話をして下さり、とても楽しく作業できました。作業がとても早く、ついていくのに必死でしたが、質問した時には快く答えて下さり、たくさん助けて頂きました。仕事の話に限らず、フィリピンの生活や酪農の話をして下さり、この3日半の間で仲良くさせて頂く事が出来ました。普段の業務では関わる事が無かったので、交流の幅を広げる事が出来てとても嬉しかったです。

他にもベットメイクや餌押し、水槽掃除、馬の飼料給与など、様々な作業を経験させて頂きました。今回私が経験した作業はほんの一部で、農家さんは多くの仕事を毎日されています。普段の業務よりもさらに近いところで農家さんと接する事が出来、改めて酪農の大変さと農家さんの牛や仕事に対する思いや努力を実感しました。

今回の実習で、授精師として組合員の皆様に少しでも貢献できるよう、これからの業務に励みたいと強く感じました。また、改めてコミュニケーションの大切さを実感しましたので組合員の方々、同じ職場の人たちと今以上に対話したいと感じました。

今回お世話になりました菊地農場の皆様におかれましては、お忙しい中受け入れて下さり感謝申し上げます。農場での経験を無駄にせず、これからの業務に努めたいと思います。ありがとうございました。





私は、10月4日から7日までの3.5日間、清和農場さんで実習をさせていただきました。私は農協に勤めていながら、今まで搾乳はもちろん、牛に触れる機会もなく、組合員の皆様が具体的にどのような作業をしているのか理解する事ができていなかったのもので、今回このような機会を与えて頂き、酪農について知る事で、自分自身の農協職員としてのあり方を見つけるという目標を持ち参加させていただきました。

初日は夕作業からで、搾乳の仕方を教えて頂きました。手搾りからミルカーを付けるまでの時間は1分が目安という事で、乳頭の消毒→手搾り→乳頭の洗浄（乳頭洗浄機で洗い、水分をふき取る）→ミルカーを付けるという作業をととても速いスピードで行っており、想像以上に重労働でとても大変でしたが、農場の皆さんが本当に優しく丁寧に説明して下さい、助けて頂いたおかげで、何とか搾乳をする事ができました。2日目は、朝作業は搾乳、昼作業は妊鑑の牛を探してから施設内見学、夕作業で搾乳をさせていただきました。清和農場さんでは、10棟のフリーバーン牛舎があり、牛それぞれのステージに合わせた管理がされていました。フリーバーン牛舎は、牛が牛舎の中を自由に動け、常に発酵温度を保った土のような感触の牛床は、牛にとって寝心地が良く寝起きしやすくなっているのもとても快適で、牛が長生きできると思いました。3日目の朝作業は搾乳、昼作業は妊鑑の牛を捕まえてから退牧をして、夕作業では、トラクターに乗せて頂いた後、搾乳作業に移りました。退牧作業は、放牧されている牛を車で追いかけて、歩いて誘導して一列に並ばせ、もくしを付けて家畜車に乗せるという流れでした。車に乗って牛を追いかける時に集団で同じ方向に移動しており、牛の集団行動という特徴を感じる事が出来ました。また、車を降りて牛を誘導した時は、今まで以上に近く感じて最初は少し怖かったです。家畜車に乗せる際は本当に大変そうで、すごく体力が必要だと思いました。またトラクターに乗せて頂いたのですが、こんなに大きいトラクターに乗るのは初めての事だったのでとても緊張しました。4日目の朝作業は搾乳、昼作業はミルクホースの交換、夕作業は哺育を体験させていただきました。ミルクホースは清潔に保つため定期的に交換が行われていると聞き、細かい作業の上、取れないようにするにはとても力が必要となるので、ミルカー 32台分交換するのはとても大変な作業だと感じました。哺育では餌とミルクをあげたのですが、まず順番に並ばせてから牛それぞれの飲む力に合わせ、哺乳瓶の乳首の穴の大きさを変える事で、咳き込まずに飲めるようにしており、細かい工夫を感じました。ミルクをずっと飲ませていると、咳き込む事があるので様子を見ながら休憩を入れました。産まれたばかりでもミルクを飲むときの勢いと引っ張る力が強く、片手で哺乳瓶を持ち、もう片方の手で顎を支えて飲ませるのは難しかったです。



この4日間実際に作業させて頂く事で、牛が1番快適に生活できるように考えている事や、どの作業にも全て体力が必要な事を知りました。また、直接牛と関わる事で酪農業の魅力を肌で感じる事が出来ました。この実習で学んだ事を今後の業務へと生かし、少しでも組合員の皆様の力になれるよう日々努力していきます。最後になりますが、お忙しい中、本当にたくさんの貴重な体験をさせて頂いた清和農場の皆様、また実習のために動いて下さった皆様本当にありがとうございました。

おお たに ゆ い な
管理部・管理課 大 谷 結衣菜



私は、3.5日間、清和農場さんで実習をさせて頂きました。今回、すべての作業が私には初めての経験で、初日は農場に向かうまで、とても緊張していました。農家さんの1日の作業を経験して、組合員の皆さんがどのような生活をしているのか学びたいと考え、今回の実習に取り組ませて頂きました。1日目の夕作業は搾乳をしました。搾乳するのは初めてだったので、牛がミルキングパーラーの奥から入ってきてミルカーの手前まで来た時に、間近で見る牛の大きさや、乳頭の1つ1つが形も大きさもすべて違う事に気づきました。搾乳方法は、牛の乳房を消毒し、手搾りをして乳頭洗浄機をかけ、汚れを拭き取り、ミルカーを装着するという一連の流れを教えて頂きました。最初の手搾りから思ったようにできず、ミルカーをつけるまでにもたくさんの工程があり、生乳を出すホルモンが出始める60～90秒の間に作業を完了させるのは難しかったです。体細胞数の高い分房の牛の足には、印がついているので、気を付けながら作業をしました。2日目は朝の搾乳をして、昼には妊娠鑑定の牛を捕まえてから、清和農場の見学をさせて頂き、夕方は搾乳の作業をしました。農家さんはこんなにも朝早くから作業をしている事を知り、私も気を引き締めて作業をしました。農場の見学では、牛舎が牛の乳量や月齢などで分かれている事や、乳牛の一生や特徴、乳量曲線について教えて頂き、約2年で母牛になりミルクを出すようになるという成長の速さに驚きました。3日目は朝に搾乳、昼は退牧の手伝い、夕方は牧草地でトラクターに乗せて頂き、その後搾乳をしました。昼の退牧では、広い放牧地の中で牛が行きそうな方向を考えて、出口に向かうよう車で誘導をしました。もくしを着けてから家畜車に乗せるまでも力が必要な作業で、牛が前に進むようにパイプでお尻をつつくサポートもしました。引っ張っていてもなかなか進まない牛もいて、大変な作業だと感じましたが、広々とした放牧地で過ごしている牛は、とても気持ちよさそうでした。夕方からは、60haの牧草地でマッセイファーガソンというトラクターに乗せて頂き、大きいトラクターに乗るという貴重な体験をさせて頂きました。4日目は朝に最後の搾乳をし、昼はミルクホースの交換、夕方は哺育の作業をしました。搾乳は、初日よりスムーズに動けるようになり、手搾りもどう握ると出やすいのか、ミルカーをどう付けたら音が鳴らなくなるのか、冷静に考えて動けるようになったのでは





ないかと思います。ミルクホースの交換は、3年に1度付け替えるそうで、計32本の付け替えをしました。夜は哺育の作業をし、子牛を番号順にナスカンにつないで、ミルクをガブ飲みしないように哺乳瓶の乳首の穴が小さいもので飲ませるようにしました。その日に生まれた子牛にミルクを飲ませるという経験をさせて頂き緊張しましたが、顎をおさえて少し高い位置から飲ませる事で、うまく飲ませる事ができました。2年で体が大きくなり、子牛を産んで乳を出してくれる牛は、成長が早くて、それを日々支えている農家さんの努力と労力が伝わってきて、酪農という仕事のすごさを知る事ができました。今回の実習で農家の1日を経験させて頂き、私が管理課で仕事ができているのは、毎日牛に良い生活をしてもらい、良い生乳を生産するための酪農家さんの努力があるという事を学ぶ事ができました。これからの日々の業務に、この経験を活かしていきたいと思います。今回、実習を受け入れて下さり、やさしく丁寧に教えて頂いた清和農場さんをはじめ、貴重な経験をさせて頂いた皆さん、本当にありがとうございました。





農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 小野寺 俊 幸

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で74年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

昨年より、新型コロナウイルスという今まで経験したことのないウイルスが世界的に感染拡大しており、このウイルスは、社会・経済の環境変化にも大きな影響を与えております。

農業分野においても農畜産物の深刻な需要の減少、東京一極集中の是正などの地方への関心の高まり、SDGsへの貢献、地球温暖化による気候変動への対応として「2050カーボンニュートラルへの挑戦」の具体化（みどりの食料システム戦略の策定）など取り巻く環境の大きな変化も加速しております。

かかる状況のもと、先般、3年に1度のJA北海道大会を開催し、【北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」】が決議されたところでもあります。

組合員・JA・連合会・中央会が各々の役割を再認識するとともに、JAグループ北海道が一体となって、しっかりと対話を行い、経営基盤を強化していくことが大会の基本目標であり、着実に実践していくことが社会からの要請に応えることにもなります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

家族経営協定とは

国は、第5次基本計画で女性の経営への参画を推進するとともに、女性が働きやすい環境の整備や育児・介護等の負担の軽減、固定的な性別役割分担の変革等に向けた取組を推進するための有効な手段として位置づけています。

北海道は、北海道男女平等基本計画において協定締結・普及啓発を進めているものです。

I もっと具体的には

法人経営においては、会社における決め事は「定款」として公的に示されて、会社を運営する側は定款に基づいて会社運営を行っています。

個人経営（家族経営）においては、家族内で話されている場合や経営主の一任で決定している場合など、約束事は決まっているけど明確になっていない場合が多くあります。

家族経営協定は、経営や家族の決め事を関係機関立会のもと、書面で明記したものに第3者の署名をもらい、公的に近い家族内のルールとするものです。

II 取り決め内容は

家族経営協定において、決まった形や必須条件はありません。家族で話し合い、決め事としてルール化しておきたい内容を明記しておけば良いのです。

実際に、家族経営協定を締結している農家の取り決め内容は次の様になっています。

- 農業経営方針の決定について
- 労働時間・休日について
- 労働報酬（日給・月給）について
- 収益の配分（日給・月給以外の利益配分）について
- 農業面の役割分担（作業分担・帳簿記帳等）について
- 農業面の部門分担（加工・販売等の関連事業も含む）について
- 生活面の役割分担（家事・育児・介護）について
- 経営移譲（継承も含む）について
- 資産の相続について
- 移譲者（老後）の扶養（住居・生活・介護等）について
- 労働衛生・健康管理について
- 社会・地域活動への参加について
- その他

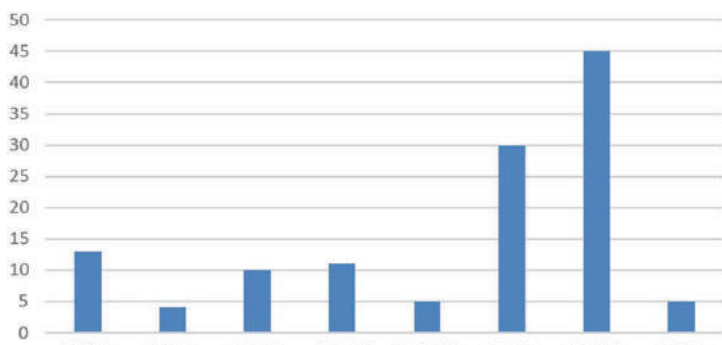
これらの内容について、複数の項目が選択されています。

III 管内の家族経営協定

締結戸数

管内における家族経営協定締結戸数は、令和3年3月末時点で123戸となっています。中西部管内では、釧路市13戸、鶴居村11戸、白糠町5戸となっています（図参照）。

釧路管内家族経営協定締結戸数(2021.3末現在)



IV 家族経営協定を考える時期

家族経営協定は、家族の話し合いで、家族みんなが納得したうえで経営している時は必要性を感じませんが、2世代での経営となるとき、後継者が結婚するとき、経営移譲を行う前など、明確なルールを家族内での共通認識として持つておくと、働きやすい、暮らしやすい関係を築くことができます。必要な内容・項目について家族で話し合い、実効性のある家族経営協定を結びましょう。

V 最後に

個人経営の発展においては、家族間の理解と連携は大変重要なポイントになります。まずは十分に家族内で話し合い、必要ときにはルール化により経営の安定と家族の連携を図っていきましょう。

家族経営協定は、各市町村の農業委員会が中心となって薦めているものです。



普及センターH
Pはこちらへ↓





鶏むね肉の北海道♪チーズロール

材料（2〜4人分）

- ・「よつ葉北海道十勝1003種のチーズ」
沢モツアレラブレンド」…50g
- ・鶏むね肉（皮なし）…320〜350g
- ・アスパラ（細め）…3本
- ・塩、コショウ…各少々
- ・オリーブオイル…適量
- ・イタリアンパセリ…お好みで

北海道コンサドーレ札幌選手寮

しまふく寮の レシピ紹介

北海道コンサドーレ札幌と
JAグループ北海道は
食農パートナーです！

Vol. 1

「レンジで！鶏むね肉の
北海道♪チーズロール」

【トマトソース】

- ・ダイスカットトマト缶…1/2缶（200g）
- ・玉ネギ…1/8個（25g）
- ・オリーブオイル…大さじ1
- ・コンソメ（顆粒）…小さじ1/2
- ・塩…小さじ1/4
- ・砂糖…小さじ1/4

作り方

- ①「よつ葉北海道十勝1003種のチーズ」
沢モツアレラブレンド」を切ります。
- ②耐熱ボウルに【トマトソース】の材料をすべ
て入れて混ぜ合わせ、ラップをせずに電子レン
ジ（600W）で4分加熱する。
- ③②の全体を混ぜ合わせ、再び3分加熱して盛
り付け皿に移す。
- ④アスパラを下ゆでして、15cm程度の長さにな
るように下を切りそろえる。
- ⑤鶏肉は皮がついていた面を下にして置き、切り
込みを入れて両側の厚みを開き、観音開きにする。
- ⑥⑤に大きめに切ったラップをかぶせ、肉たた
きやめん棒でたたいて厚さをそろえながら、18
cm四方の大きさに薄く伸ばす。
- ⑦ラップを2枚重ねにして鶏肉よりも大きくし
き、皮目を下にして乗せ、塩、コショウをする。
- ⑧④のアスパラと「よつ葉北海道十勝1003種
のチーズ」沢モツアレラブレンド」を乗せる。
- ⑨ラップごと手前からひと巻きし、中身が出な
いように鶏肉の両端を少し内側に折りこむ。

北海道コンサドーレ札幌の管理栄養士
小松先生のコメント

鶏むね肉からたんぱく質とビタミンB6、
モツアレラチーズからたんぱく質とビタ
ミンB2、カルシウムを摂れるので、体づく
りやリカバリーに使えるレシピです。試合
や練習が早く終わった日の「リカバリーお
やつ」や19時前の夕食に適しています。皆
さんぜひ、お試しください。

⑩のり巻きを作る要領で手前に戻しながら、ラ
ップで包んでしっかりと巻く。両端のラップを
ねじって

- ⑪巻き終わりを下にし、ねじった両端を入れ込
んで耐熱皿に置く。電子レンジ（600W）で
1分半、返してさらに1分半加熱する。
- ⑫ピンク色で火が通っていない部分があれば、
その部分を下にして30秒程再加熱する。5分程
置いて落ち着かせる。
- ⑬ラップをはずして1.5cm幅に切り、⑤のト
マトソースの上にのせる。
- ⑭お好みでパセリを添え、さっとオリーブオイ
ルをかけて完成。

チーズのなめらかさを楽しめるレシピです。
調理はレンジにおまかせで簡単。パーティ映え
抜群なので、おもてなし料理にもオススメです。



高嶺朋樹選手

北海道コンサドーレ札幌とJAグループ北海道は、
相互連携協定を結び、食農教育・社会貢献活動を展開しています！

ド ファーム
●コンサ・土・農園

●よい食JA親善大使



JAグループ北海道は、「コンサ・土・農園」や「よい食JA親善大使」を通じて、
北海道コンサドーレ札幌とともに、食の重要性を幅広く発信しています。



北海道コンサドーレ札幌
栗山トレーナーによる

Vol.4

農作業にも役立つ セルフコンディショニング講座

選手達のコンディショニング、フィジカルトレーニングを担当している栗山渉トレーナーが、誰でも簡単にトライできる、セルフコンディショニングの方法をご紹介します！スポーツをしている人も、していない人もチャレンジしてみましょう！

北海道コンサドーレ札幌と
JAGグループ北海道は
食農パートナーです！



今回のテーマ

肩こり緩和のための
セルフマッサージ&ストレッチ

今月は長時間の座り作業による身体のトラブルを改善するためのエクササイズを紹介します。

座位姿勢が長時間に及ぶと、肩、胸の筋肉が硬くなってしまい、猫背やストレートネックなどの不良姿勢を助長させてしまいます。このような姿勢のまま座り作業を続けてしまうと、**肩コリがひどくなったり、頭痛が生じてしまうこともあります。**

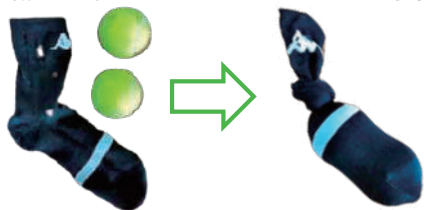
まずは2個のテニスボールを使って首、背中の筋肉のコリをセルフマッサージで柔らかくしましょう。その後、筋肉を心地よくストレッチして**首、肩、背中の筋肉をリフレッシュ**しましょう。

※エクササイズをすることで肩、首に不愉快な痛みが生じる場合はすぐに中止して下さい。強い痛みが継続する場合は整形外科を受診することをお勧めします。

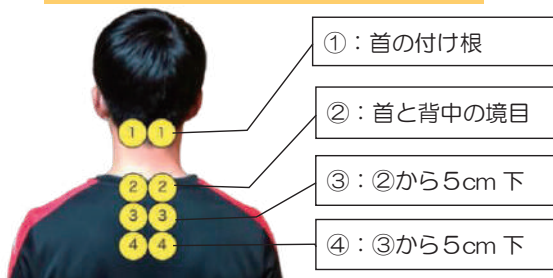
はじめに

準備するもの

テニスボール2個と靴下を用意し、靴下の中にボールを入れて結びます。



セルフマッサージのターゲット



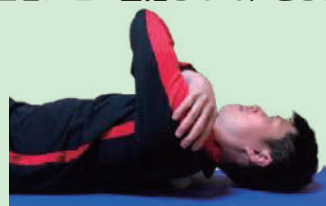
1 首のセルフマッサージ

- 1 仰向けに寝て、首の付け根（①の部分）にテニスボールを当てる。両手を添えるとテニスボールを固定しやすい。
- 2 リラックスして20秒間静止し、頭の重みでじんわりとマッサージ。
- 3 頭をゆっくり小さく左右に20回動かして、さらにマッサージ。



2 背中のセルフマッサージ

- 1 仰向けに寝て、首と背中の境目あたり（②の部分）にテニスボールを当て、両手を前で組む
- 2 リラックスして20秒間静止し、体の重みでじんわりとマッサージ。
- 3 体をゆっくり小さく左右に20回揺らして、さらにマッサージ。
- 4 テニスボールの位置を③にずらして、同様の手順でマッサージ、その後に④も行う。



3 胸の筋肉のストレッチ

- 1 肩の高さまで腕を上げて壁に手をつく
- 2 反対側を見るようにして胸を開き、心地よく胸の筋肉がストレッチされた状態でキープ
- 3 3セット終わったら、反対側も同様に行う



4 首から肩の筋肉のストレッチ

- 1 両手を腰で組む
- 2 頭を横に倒していき、首から肩にかけて、心地よくストレッチされる角度で20秒キープ
- 3 左右交互にストレッチを3セットずつ行う。





国消国産



国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産



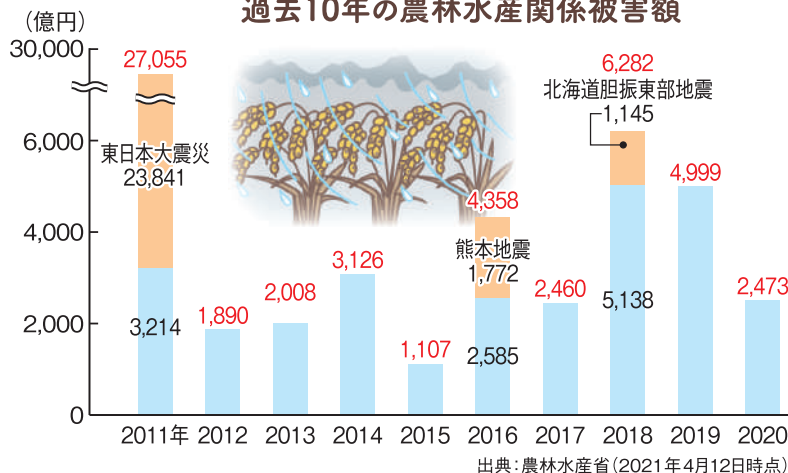
【今回のテーマ】

自然災害が多発…
どんなリスクがある？

日本だけでなく世界でも自然災害の発生が続けば、農畜産物が生産できなくなり、最終的には食料不足になってしまうリスクがあります。



過去10年の農林水産関係被害額



日本では自然災害の回数・被害額とも増加傾向にあり、天候不順による収穫量の減少、洪水や土砂崩れによる農地や農業関連施設への被害などが発生しています。例えば、日本における「非常に激しい雨（1時間降水量50ミリ以上）」は直近30年で約1.5倍に増えています※。

自然災害は世界的にも多発していて、日本の農産物輸入の上位5カ国（米国、中国、豪州、タイ、カナダ）でも、豪雨や干ばつなどの災害が発生しています。

こうしたリスクを知り、国産食材を食べることで日本の農業を応援することが大切です。

※出典：気象庁



耕そう、大地と地域の未来。

今月のミルクレシピ

牛乳や肉類のたんぱく質で美肌効果アップ！
塩チンジャオロースー

【作り方】

1. 牛肉は細く切り、Aを混ぜて下味をつける。
2. じゃがいもは細切りにする。ピーマンはヘタと種を除いて縦に細く切る。
3. フライパンにサラダ油小さじ1を熱し、じゃがいもを炒める。火が通ったらピーマンを加えてサッと炒め、いったん取り出す。
4. 同じフライパンにサラダ油小さじ1を足し、しょうがを入れて熱し、香りが出てきたら①を加えて炒める。肉の色が変わったら牛乳を加えて弱火で煮る。ふつふつとしてきたら、じゃがいもとピーマンを戻し入れ、塩、こしょうで味を調える。



材 料（2人分）

牛肉（焼き肉用）	150g	ピーマン（赤）	1コ
酒、かたくり粉	各大さじ1	しょうが（みじん切り）	10g
しょうゆ、砂糖	各小さじ2	サラダ油	小さじ2
じゃがいも	1コ	牛乳	180ml
ピーマン	2コ	塩、こしょう	各少々

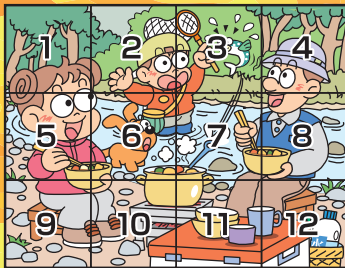
元気・キレイ★ポイント

ピーマン
ビタミンCは熱に弱いのですがピーマンのビタミンCは熱に強い！牛乳や肉類のたんぱく質と一緒にとれば美肌効果も一段とアップしますよ。

※Jミルクホームページより転載

まちがいさがしにチャレンジ!!

～ちょっと一息～ あたまの体操のコ～ナ～



右のイラストには左のイラストと違う部分が**5ヶ所**あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。

今回の答えは11月号に掲載するよっ!!

9月号の答え

1 3 6 10 12

1 栗が一つ割れている 3 赤トンボが増えている 6 栗ご飯の量が違う
10 しょうゆ差しの位置が違う 12 湯飲み茶わんの形が違う

おめでとうございます!! 9月号の当選者 ・やんくんママ さん ・Y さん ・キョンタ さん

まちがいさがし 10月の答え

--	--	--	--	--

住所

氏名

ペンネーム

※氏名とペンネームは必ず記入願います。

電話番号

ご意見や季節のつぶやきなどの一言をお寄せください。

応募者の個人情報は厳正に管理し本応募以外の目的には使用しません。

・正解者3名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。
なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。

《応募方法》 左下の部分を鶴居事務所 管理課まで
FAX (0154-64-2315) をいただくか、切り取って
いただき各事務所へ提出してください。

《締め切り》 2021年12月2日まで
当選者の発表は11月号にて発表します。
プレゼントのお渡しは郵送にて発送いたします。

・つぶやきコーナー

- ・アア寒くなって来た。ストーブの前が1番良いの
だが今年は灯油が高くて、ストーブの火も大きく出
来ない寒い冬 (Tサンさん)
- ・今年もあと2ヶ月。早かったです。皆様お体おとい
下さいね。 (ココ&くろ)
- ・我が家の牛舎の子猫7匹。最近、エサ・牛乳を要求
するかわいいけど、密です。 (しいばば)
- ・もう10月、あっという間に1年、来年はもう「コロ
ナ」って聞きたくないですね。 (やんくんママ)
- ・コロナは収まってきたようですが、牛乳が余っているよ
うです。もう一杯多く飲みましょう。 (キョンタ)
- ・外を歩くと雪虫が飛んでいますよ。冬が近づいているの
がわかりますね。コロナ コロナ、早くきえろー 表紙
の花がとっても、きれいですね。 (S. M)
- ・だんだん寒くなってきました。冬が楽しみです! ソ
リ遊びなどしたあい!! (そうちゃんハヒー)

理 事 会 報 告

9月定例理事会 令和3年9月29日（水曜日）

I. 報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 8月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 無通告監査の報告について
6. 委託内部監査の報告について
7. 現金及び棚卸資産の管理に係るJA自主点検の報告について
8. 理事に対する資金の貸付報告について

- 議案第4号 令和3年度下期更正計画の承認について
- 議案第5号 令和3年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）に係る配分予定の承認について
- 議案第6号 幌呂育成牧場新設に係る建設予定地の地盤調査等の実施について
- 議案第7号 諸規程の一部変更について
- 議案第8号 生乳廃棄事故（抗生物質混入事故）防止対策の取り組みについて

II. 付議事項

- 議案第1号 令和3年度（第2四半期）にかかる監事監査の結果について
- 議案第2号 みのり監査法人計画監査及び期中監査Ⅰ経過概要の結果について
- 議案第3号 固定資産の取得について

III. その他協議事項

1. 「第30回JA北海道大会」に係る組合員組織討議の意見集約について
2. 秋季地区懇談会の開催について
3. 当面の業務日程について

■令和3年度 生乳生産実績（9月）

	月計乳量 (kg)	9月前年比(%)	累計乳量 (kg)	累計前年比(%)
JAくしろ丹頂	8,979,327.2	108.4	55,055,811.1	106.5
鶴居地区	3,369,057.8	105.2	20,724,255.9	104.3
幌呂地区	2,547,931.1	113.2	15,700,786.7	112.0
白糠地区	1,673,957.7	113.6	9,912,950.5	105.6
音別地区	1,388,380.6	102.1	8,717,818.0	103.5
管内計	46,316,830.5	103.2	276,246,547.0	101.6
(前年度管内計)	43,323,511.4		271,849,087.5	

辞 令 発 令

（令和3年10月20日付）

氏 名	新 所 属	旧 所 属
位 下 光 広	畜産生産部 販売課長 兼 哺育育成センター係長	畜産生産部 販売課長
長 屋 英 俊	畜産生産部 販売課 販売係長（鶴・幌担当）	畜産生産部 販売課哺育育成センター係長

お詫びと訂正

9月号最終頁の早朝授精業務の終了について白糠・音別地区の授精受付時間の内容に誤りがございました。お詫び申し上げますとともに、改めて訂正させていただきます。

（誤）午前受付時間 9時00分から → （正）授精業務出発 9時00分から
午後受付時間 13時00分まで → 受付時間 13時00分まで

□最近朝夕の気温がぐっと下がり、すっかり秋めいて参りました。

この時季は紅葉狩りに出かけられた方多いのではないのでしょうか？

編集後記 EDITOR'S NOTE 緊急事態宣言が解除されたからか、大勢の観光客が紅葉を見るために訪れていたようです。

秋が終わるといよいよ冬が到来いたしますので、風邪などを引かぬよう体調管理をしっかりとってまいりましょう。（山本）



JAくしろ丹頂ホームページ

